

DEPARTMENT OF MOLECULAR MEDICINAL CHEMISTRY

分子創薬化学研究室 (旧 薬化学研究室)

2009. 04



ORGANIC CHEMISTRY

教授
佐野 茂樹
Shigeki SANO

平成20年度博士論文

・中尾 允泰

「酵素反応を用いる α -置換セリン誘導体の不斉合成ならびに絶対配置の決定に関する研究」

助教
中尾 允泰
Michiyasu NAKAO

Members of Our Lab.



中尾允泰博士が平成21年4月1日付で分子創薬化学分野 (旧 薬化学研究室) の助教として着任しました。

分子創薬化学研究室では「ヘテロ原子の特性を活用する新反応および機能性分子の開発と創薬への応用」を研究課題の柱とし、チームワークを第一に研究室員が一丸となり、薬学としての独自性と学際性を備えた有機化学的研究に取り組んでいます。

Dr. Michiyasu Nakao has taken a new position as assistant professor in April 2009. The main concern of this department is "development of new reactions, functional molecular devices, and new candidate compounds for drugs".

研究室の情報は下記ホームページに掲載しています。詳細についてのご質問等は、研究室 (6階東) をお訪ね下さい。

URL <http://150.59.84.2/?&rf=116>

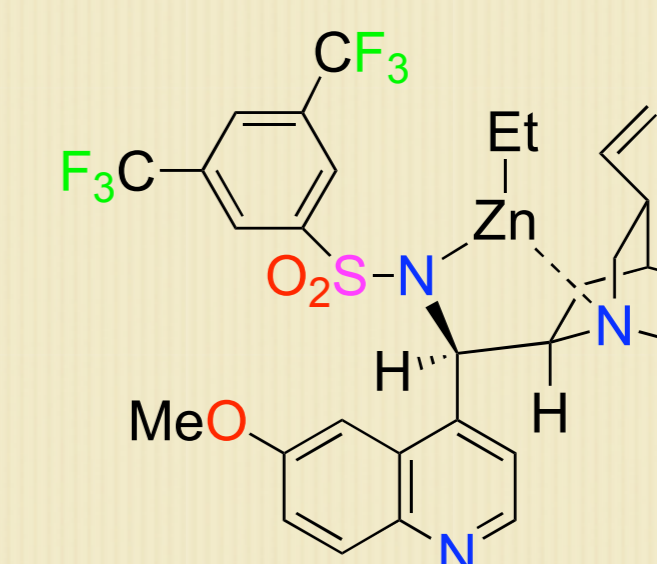
平成20年度卒業論文

- ・ 嘉村 真法 「光学活性フトラジノン誘導体の効率的合成法の開発」
- ・ 坂井 亮介 「分子内励起二量体形成を基盤とする新規タンパク質蛍光標識化合物の合成と開発」
- ・ 中山 ゆかり 「アンギバクチンならびにアンヒドロアンギバクチンの合成研究」
- ・ 廣山 裕太 「四級不斉炭素を活用した α -アミノ酸の新規絶対配置決定試薬の合成研究」
- ・ 丸木 あゆみ 「酸化劣化脂質に含有されるDNA障害性新規化合物の探索研究」
- ・ 矢野 哲平 「不斉HWE反応を活用した光学活性アレンの合成研究」

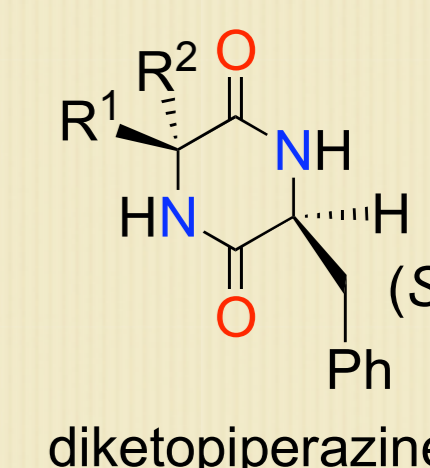
平成20年度修士論文

- ・ 市川 喬士 「脱共役エステル化反応による光学活性2-シクロヘキセニル酢酸エステルの合成研究」
- ・ 大勢 祐希子 「ケトンの不斉還元によるフルオロオレフィン型光学活性ジペプチドミメティクスの合成研究」
- ・ 上野 麻衣 「アンギバクチン及びアンヒドロアンギバクチンの合成研究」
- ・ 竹安 正範 「イソマンニド及びジケトピペラジン骨格を有する不斉有機触媒の合成開発研究」
- ・ 山下 大輔 「タンデム型還元-オレフィン化反応によるE型オレフィンの合成研究」

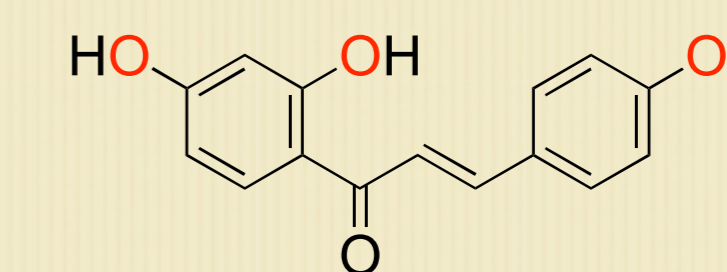
Key Compounds



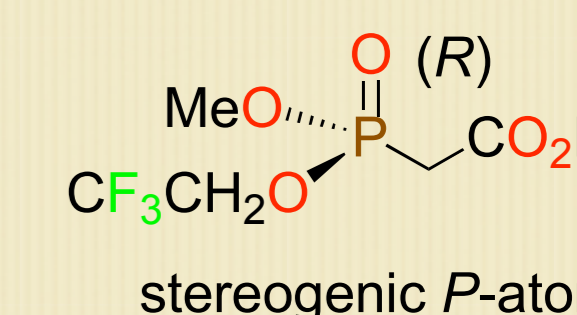
chiral sulfonamide-Zn complex catalyst



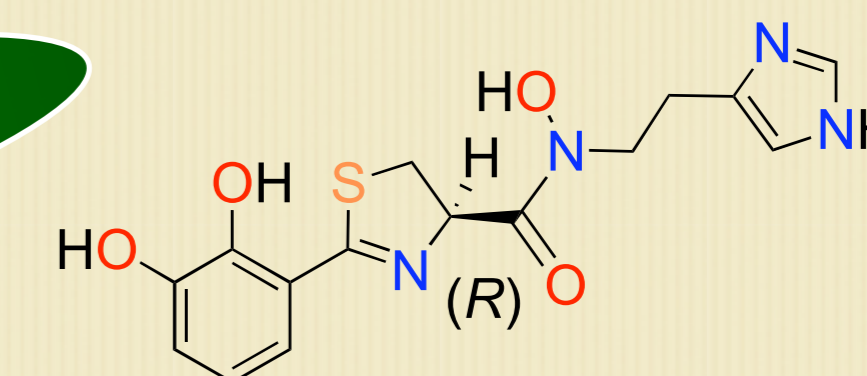
diketopiperazine



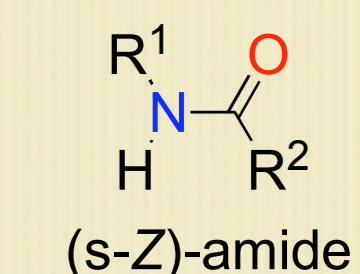
isoliquiritigenin



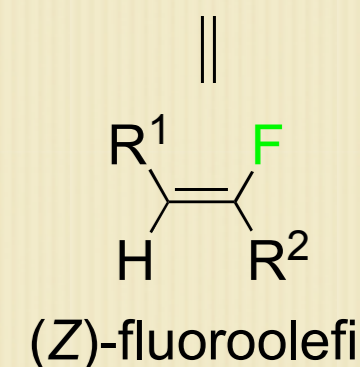
stereogenic P-atom



(-)-anguibactin



(s-Z)-amide



(Z)-fluoroolefin

2009-04-06撮影
徳島大学蔵本キャンパス・長井記念庭園にて